

第3回 「薩摩金山蔵書道展」 実施要綱

1. 名称 第3回「薩摩金山蔵書道展」

2. 主催 薩摩金山私学校 後援 いちき串木野市教育委員会 南日本新聞社

3. 対象

1) 地域 いちき串木野市・日置市・出水地区・伊佐地区・川薩地区・始良地区
指宿地区・川辺地区・鹿児島市内

2) 参加対象 上記地区内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童・生徒及び大学生・一般

4. 趣旨

薩摩金山蔵は、今から350年もの昔、薩摩藩第19代太守島津光久公の頃に金鉱脈が発見され、ひと頃は日本一の産金量を誇っていた串木野金山にて、甕仕込み・坑道内甕貯蔵・どんぶり仕込み（江戸時代に行なわれていた仕込み法）を再現した焼酎蔵として2005年4月開業した。

薩摩金山蔵は、単なる焼酎蔵としてではなく、薩摩の財政を支え続け、明治維新の原動力になったといわれる金山と500年にもわたり庶民が楽しむ蒸留酒として生き続けた本格焼酎という2つのバックグラウンドを背景とし「薩摩を語れば現代が見えてくる」をキャッチコピーに薩摩の伝統・文化の継承と新たな時代発祥の場として「薩摩を語る」情報発信を行なう拠点でもある。

このようなことから、書道展を実施する事により、“薩摩金山蔵”と“薩摩の伝統・文化”への関心を深め、併せて書道の普及、向上を図るものとする。

5. 応募規格

1) 硬筆の部（小学校低学年のみ）

①用紙 A4縦にえんぴつ書き（2Bまたは3B程度の鉛筆使用が望ましい。）

②題字 別紙課題の通り

2) 毛筆の部

①半紙の部（小学3年生～一般）

②半切四つ切の部（中学生・高校生・大学生・一般）

（サイズ：横 約17.5cm 縦 約67.5cm）

③書体

・小学生、中学1年生は、楷書とする。

・中学2、3年生は、楷書または行書とする。 ・高校生以上は自由。

④題字（半紙の部題字）。

・小学3年生 「金山」 ・小学4年生 「星空」

・小学5年生 「海岸」 ・小学6年生 「桜島」

・中学生 「太鼓踊り」 ・高校生 「徐福花冠祭」

・一般「天璋院篤姫」

3) その他

①硬筆の場合は、右側指定箇所に本人による学校名・名前を記入する事。

※必ず、指導担当者・保護者の方による添え書きを左下余白に鉛筆で行ってください。

②毛筆作品の場合は、左側余白に本人による学校名・学年・名前を記入する事。

（例）串木野小 ○年 ○ ○ ○ ○ （たて書き）

※必ず、指導担当者・保護者の方による添え書きを半紙左下余白に鉛筆で行ってください。

高校生以上は名前の書き方は自由。（ただし、団体名・学校名・学年・名前を鉛筆で添え書きすること。）

※ いずれの作品も、鉛筆による添え書きをしてください。申込書との照合や受賞者名簿の作成に大変重要です。ご協力をお願いいたします。

③応募作品は返却しない。

④中学生・高校生・大学・一般は、半紙の部、半切四つ切りの部のいずれにも出品できる。

⑤出品料は、**無料**

⑥作品は、表装をせずに出品する事。

⑦上記規格外の作品は、審査の対象外とする。

6. 応募の方法

作品は、各団体・各学校で別紙様式の申込書の順番どおりに取りまとめ、作品に申込書・申込作品集計表を添えて、平成20年9月30日（火）必着にて下記の提出先に送付する。（集計・審査の関係上、期日を過ぎての作品応募は審査の対象外とする。）

また、作品応募は、題字に対して1人1作品の出品を基本とする。ただし、半紙・四つ切の部にそれぞれ1作品ずつの出品は可とする。

（提出先及び問い合わせ先）

薩摩金山蔵内 薩摩金山私学校事務局 第3回「薩摩金山蔵書道展」 担当 平石 まで
住所 〒896-0053 いちき串木野市下名 13665
電話 0996-21-2110 (FAX) 0996-21-2511

7. 入賞発表等

1) 主催者において委嘱する審査員により厳正な審査を行ない、次の入賞作品を決定する。

①薩摩金山蔵賞 ②いちき串木野賞 ③南日本新聞社賞

※①～③は特別賞とし、薩摩金山蔵にて表彰式を行なうものとする。（下記8の3を参照。）

④奨励賞 ⑤入選 ⑥佳作

2) 特別賞の入賞者（上記①～③）には、賞状及び副賞を授与し、薩摩金山蔵内にて展示する。

奨励賞・入選（上記④・⑤）の作品には、表彰状を授与し、薩摩金山蔵内にて展示する。

佳作（上記⑥）の作品には、表彰状を授与する。

3) 応募者全員に参加賞として、小学生には粗品（鉛筆等）を、中学生以上には金山蔵で使用できるトロッコ・入浴セット券を進呈する。

4) 入賞点数は、応募状況などを考慮した上で、審査時に決定する。

5) 入賞発表

平成20年10月31日（金）

入賞者名を所属の学校・団体及び個人に通知する。また、南日本新聞紙面上にて発表する（掲載日等は未定）。

※新聞紙面上での名前掲載が不可の場合は、申込書にその旨を記入する事。

8. その他

1) 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとする。

2) ①「薩摩金山蔵賞」②「いちき串木野賞」③「南日本新聞社賞」④「奨励賞」⑤「入選」の作品は、11月1日（土）から11月28日（金）まで薩摩金山蔵内にて展示する。

3) 11月23日（日）11:00より、①「薩摩金山蔵賞」②「いちき串木野賞」③「南日本新聞社賞」の受賞者および講師（審査員）・関係者の方々を招き、表彰式を開催する。